平成２９年７月１３日

２学年保護者の皆様へ

伊 丹 市 立 伊 丹 高 等 学 校
ＰＴＡ会長　東　絵里亜
２学年部部長　谷本　美佐子

２学年保護者会だより

夏空がまぶしく感じられる季節となりました。日頃はＰＴＡ活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。６月３０日（金）に開催しました「２学年保護者会」につきまして、ご報告いたします。（参加人数：保護者 114 名、先生方 13 名、合計 127 名）

１．学校長ご挨拶（中井 修 校長）

保護者の皆さまにおかれましては、本日は数多くご出席いただき感謝しております。また、先日の文化祭では、ご協力に感謝しております。さて、今の若者の気質として、目上の人へ何かを聴くことを苦手としているようです。その原因には主に３つあります。１つ目は目上の人に聴くと叱られるのではないかと恐れることです。２つ目はスマートフォンやパソコンがあるので人に聴くより自分で調べる方が簡単に感じているようです。３つ目は世代の価値観の違いです。いずれにしても互いにコミュニケーションを密にすることが大切です。これは、保護者と学校も同様です。もし何かありましたら、学校に相談してください。

２．２学年主任ご挨拶（福村 泰彦 先生）

本日は足元の悪い中、お越しいただきありがとうございます。ある調査結果によると、進学にあたり保護者が最も重要だと考える情報は、１位「入試制度」２位「進学費用」とのことです。今回の保護者会を開催するにあたって、「進学費用」についての講演を準備いたしました。保護者の皆さまにとって有益な情報が提供できればと考えております。また、９月２１日（木）に２年教育課程進路説明会を開催いたします。その際には「入試制度」について情報提供できればと考えております。後半は、修学旅行について東武トップツアーズから説明があります。学年団一同、実施に向け万全を期してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

３．学費奨学金講座（講師：長尾 公二 氏）

・進学にかかる費用（受験～入学・卒業まで）
・奨学金制度の仕組みについて（申し込み方法・支給・返済方法）
・各種教育ローンについて
・その他の気をつけておくべきこと　等

奨学金の振り込みは入学後のため入学費に充てることは出来ない。

４．修学旅行の説明（東武トップツアーズ）

（１）修学旅行出発までのｽｹｼﾞｭｰﾙ（水色用紙）
（２）ﾊﾟｽﾎﾟｰﾄ申請手続き、渡航手続きに伴うお伺い書、未成年者受診における同意書（ﾋﾟﾝｸ色用紙）
（３）申し込み確認書（海外旅行傷害保険・外貨現金購入）
（４）海外旅行保険について（任意）・・・全員が旅行参加者保険には加入します。
（５）質疑応答

・気候服装などは？
→気温は高く、23～31℃くらいで夏用の私服
・どれくらいﾄﾞﾝ（外貨）が必要か？
→個人差はあるが、1万円か1万5千円分位換金してあればいいかと思う。
・代金お振込の際の名前は、生徒氏名にてお願い致します。

５．各クラス担任から

・１組担任から（辻 克樹 先生）

２年１組ＧＣコースは、４月より新たにオーストラリアからの留学生が加わりました。毎日、マギーはクラスの一員として楽しそうに高校生活を過ごしています。また、先日の文化祭で最優秀賞を取り、クラス全員で喜びを共有できたことで絆もさらに深まりました。１１月のベトナム修学旅行を中期ゴールとして、この夏、オーストラリア語学研修やEnglish Summer Seminar等を通してさらに英語運用能力を高めていきたいと思います。こうした挑戦の先にそれぞれの生徒の進路実現（可能性）があると信じています。

・２組担任から（津田 悠希 先生）

２組は、国公立文系志望と理系がおよそ半々になっています。そのため、クラス全員で受ける授業が少なく、年度当初はなかなか互いに声のかけづらい様子でした。今現在、様々な行事を経ていくたびに打ち解け合い、まとまりのあるクラスになっています。先日の文化祭では、小人の世界を表現すべくキッチンにあるものを大きく作ったり、模擬

店でポップコーンをおよそ 500 人分も販売したりととても楽しんでいました。また、勉強面では「理系は数学・英語両方必要！国公立を受験するなら数学も必要！」とし、苦手科目克服を強調し、朝の小テストにおいて数学は学年１位を目標に掲げ、英単語では【打倒ＧＣ！】で日々取り組んでいます。行事に勉強にと全力で取り組む２組の生徒の応援をよろしくお願いいたします。

・３組担任から（中村 須美代 先生）

３組は、全員が理系のクラスです。男子 23 名、女子 16 名と男子の方が多くなっていますが、男子も女子も元気いっぱいで、活気のあるクラスです。文化祭では教室展示で、本当に宇宙にいるような空間を創り上げることができました。色々アイデアを出し合い工夫して作っている様子に、やはり理系の生徒はものづくりが好きなのだと感じました。模擬店では、焼きそばを販売しました。準備や試作と大変でしたが、当日は多くの方に食べていただき好評で達成感がありました。保護者様にもご協力、ご購入いただきありがとうございました。壁画では、優秀賞をいただきました。一人ひとりの生徒が責任をもって役割を果たすことができたよい文化祭でした。学習面は、全員理系のためクラス単独の授業が多くなっています。それぞれが進路実現できるように指導していきますのでよろしくお願いいたします。

・４組担任から（松本 海 先生）

４組は文系のクラスで、国公立・私立・専門学校・看護系大学など多種多様な進路希望を持った生徒がいます。進路が異なる環境でも、クラスで向上心を持って取り組んでいると思います。クラスの雰囲気は非常に明るく、元気です。また、互いを思いやる優しさも持ち合わせており、人としての魅力にあふれているクラスです。先日の文化祭では、ジェットコースターという難易度の高い展示に挑戦しました。準備から当日まで本当に様々な生徒が力を合わせて見事完成までたどり着きました。これから２学期・３学期になるにつれて行事・進路面で今よりも大変なことが増えてくると思いますが、全力で生徒たちをサポートしていきたいと考えていますので今後ともよろしくお願いします。

・５組担任から（巽 敦央 先生）

情報の授業を担当しています。２学年の授業としては、商業科の「ビジネス実務」の生徒しか受け持っていません。つまり５組の生徒とは、行事でふれあうことが中心となっています。５組は、私立文系のクラスで学力も進路希望も十人十色です。文化祭では、「わくわくドリームランド」というタイトルで展示をしました。担任が、指示をする余地もなく、どんどん作業が進んでいき、びっくりしました。模擬店に関しても、第一希

望の「チョコバナナ」が却下され、一度は落ち込みましたが、「ベビーカステラ」を 300 人分売るという目標の下、協力し、当日は朝早くから調理班を中心に頑張ってくれました。結果、大盛況の内に文化祭を終えることができました。５組は、なかなか賑やかなクラスです。これから、いろいろな行事で保護者の方の協力をお願いすることもあると思いますが、温かい目で見守っていただければ、うれしく思います。

・６組担任から（中村 公一 先生）

６組は、私立文系型のクラスで、専門学校や短大への進学希望者を含め、様々な夢を持った生徒が在籍しています。文化祭では全員でよく協力して、歓迎の意がよく表現された門を作ることができました。作り上げた達成感は、長く記憶されることと思います。反省点としては、「先生～ありますか？」という言葉が多かったことです。これは想定されることを準備する、想定することを想像する、イマジネーションすることの大切さにつながります。これを世間では、「仕事力」といって仕事ができる、できないの評価となることを文化祭の総括として生徒には伝えました。この力を、１１月の修学旅行また来年の文化祭に向けて培ってほしいです。

・７組担任から（太田 美緒 先生）

年度当初は、家庭学習の習慣が身についておらず、どうしたものか？と思っておりました。しかし、「打てば響く」生徒たちで、昨年は終始学年最下位の英単テストも、学年３位まで躍り出ることもあり、普通科にも負けず劣らずの成績を取り続けています。文化祭では「写真スポット」「たこ焼き」を精一杯頑張り、アンケートにおいてもほぼ 100％の生徒が「楽しかった」と答えてくれていました。文化祭終了後から、３週にわたり、電卓、簿記、ビジネス文章実務の検定を頑張っています。電卓検定も１級合格者が７名ほど出ました。８月の終わりから９月にかけて、商業英検に向けての対策講座が実施されます。進路実現に向けて、是非、取り組んで欲しいと思います。

このたびは、多くの保護者の皆様にご参加いただきありがとうございました。

最後になりましたが、中井校長先生、学年主任の福村先生をはじめ、各クラスの担任の先生方にはお忙しい中、大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。